

なぜ大地を 血で汚すのか

大岡昇平さんが小説にした、第二次世界大戦フィリピン戦線における日本軍の苦しい彷徨いを映画にしました。50年前に市川崑さんがやはりすばらしい映画にしていますが、本作はそのリメイクではなく、あくまで原作から感じたものを映画にしたものです。初めて読んだのは高校生のときですが、本当の戦場にいるような恐ろしさがあり頭から離れませんでした。

30歳をすぎ本格的に映画にしようと動き始めましたが、規模も大きく中々現実的にはなりません。さらに歳月が流れ、今から10年前に、戦場に行った方々が80歳を越えたときに強い焦りの気持ちが起こりました。その方々のお話だけでも聞いておかなければとインタビューを始めました。しかしそれでも映画化は簡単には進みませんでした。そして、今、実際に戦争の痛みを知る人がいよいよ少なくなるにつれ、また戦争をしようとする動きが起こっている気がしてなりません。今作らなければもうこの先作るチャンスはないかもしれない。また作るのはいましかないと思い、お金はありませんでしたが、多くの力強い協力を得て完成に至りました。

映画は一定の思想を押し付けるものではありません。感じ方は自由です。しかし、戦争体験者の肉声を体にしみ込ませ反映させたこの映画を、今の若い人をはじめ少しでも多くの人に見てもらい、いろいろなことを感じてもらいたいと思いました。そして議論の場に使用していただけたら幸いです。

塚本晋也

PG12
児童

製作・配給／海獣シニアター 2014年／日本映画／カラー／Fujihd/DCP（一部BD）上映／5.1ch/87分 ©2014 SHINYA TSUKAMOTO/KAIJYU THEATER nobi-movie.com

8月15日 日 10年目の終戦記念日上映

リリー・フランキーさん × 塚本晋也 監督 トークあり
料金：一般・会員・シニア 1,200円 / 25歳以下 500円

ユーロスペース
EUROSPACE
渋谷 Bunkamura 前交差点左折
03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

